

SAS事業について解説

ヘルスケアネットワーク 両輪会を開催

ヘルスケアネットワーク(ochis)は12日、「ドライバーへのアプローチ、健康と安全の両輪から」をテーマに、「第27回安全と健康を推進する協議会(両輪会)」をオンラインで開催した。

両輪会代表の作本貞子氏は、「この運輸業界においては、ドライバーが財産。ドライバーの元気が会社の元気、そして社会の元気につながる」とあいさつした。

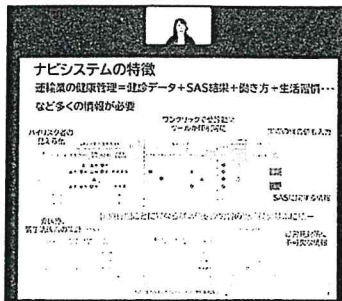
セミナーでは、保健師の安島なつき氏

と黒田悦子氏が「運輸ヘルスケアナビシステム」やSAS事業についてスライドを用いて解説。安島氏は、「ナビシステムは、医療機関と異なる基準値や用紙のフォーマットを統一し、エクセルデータに集約できる」と説明した。

講演では、「両輪

会」立ち上げ事業者の2社が登壇。合通ロジ・総務部の狩集誠課長が、「定期健康管理部の岸本恵知課長が、「ドライバー向け取扱規則等の『ドライバーズブック』の活用について」と題し、事例を紹介した。

セミナー画面



(レイアウト・文野初音)

(高橋頌子)